

光 明 寺 通 信

こ う み ょ う

第 24 号

この如来は光明なり。光明は智慧なり。

智慧はひかりのかたちなり。

親鸞聖人著作『一念多念文意』

新しい年を迎えました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、もしかしたら、このまま収束に向かうのかなあ・・・、なんて期待をしてみましたが、「オミクロン株」という変異株が出てきて、また戻るきっかけを失ってしまったような気がしております。

一体いつになったらマスクを外して外を歩くことができるようになるのでしょうか・・・。

この2年間で、私たちは多くのことを失ってしまいました。挙げていたらキリがないほどです。

でも、得たことも少なからずあったのではないかと思うのです。例えば、インターネット環境。外出せずに「リモート会議」をしたり、遠く離れた人とモニター越しに話ができたり、ネットショッピングで買い物、ユーチューブやテレビ・映画の配信など。それから、飲食の配送サービスなどなど。

便利になった面もありますが、実は、得たことも含めて、私たちのライフスタイルは大きく変わってしまいました。これも挙げたらキリがありません。お寺ということで言えば・・・。

仏事です。仏事を回復しなければなりません。これには、皆さまのご協力を切にお願い申し上げるほかありません。

合掌

第 24 号

2022 年 1 月 1 日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田 9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

ホームページ：

<http://koumyouji-fukagawa.or.jp/>

江東区・清澄公園



第11回終活セミナー報告

2021年11月20日(土)、第11回目となる「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は、お寺に12名、インターネットで8名の方にご参加いただきました。

緊急事態宣言が解除されたということもあってでしょうか、お寺での参加が、定員いっぱい12名。やっぱり、場を共有するということは問いの共有にもつながっている感じがして、いいですね。



今回のテーマは、「シニア世代のためのいきいきライフデザインセミナー」でした。

ご講師は、外資系生命保険会社勤務で、フアイナンシャルプランナーの原寛樹(はらもととき)さん。原さんはなんと、私住職と同じ京都の大谷専修学院で仏教の勉強をされているのです。住職と同じ歳なのですが、学んだ時期は違うのでお会いしてはいませんでした。

原さんからは、セカンドライフのライフデザインということ、三つの「いきかた」(生きかた・生きかた・逝きかた)に備える、というお話をお聞きしました。

「生きかた」は、生き活きた充実した時間を過ごすための備え。「生きかた」は、病气や介護についての備え。「逝きかた」は、お墓やお葬式・相続などへの備え。これら三つの備えについて、さあ、マネープランをどうデザインしていきましょうか?というきっかけをお話いただきました。

住職からは「仏教の終活」です。釈迦族の王子であつた釈迦さまは、誰もが抱える「老・病・死」の問いを抱いて出家しました。その問いは、私たちにも共通した問いであり、この問いを教えるに尋ねていくことが「仏教の終活」なのです、というお話でした。



会場に参加されている方には資料をお配りし、インターネットで参加されている方には画面に資料を映し出してお話ししました。アクリル板を設置しています。

いつもながら、参加者にはアンケートにお答えいただきましたので、ご紹介します。

参加の動機

- ・自分の両親のために終活を学びたいから
- ・興味のあるテーマであつた

お寺の終活セミナーの感想

- ・お寺の住職さんの語る一部と、ファイナンシャルプランナーの語る二部の構成になっているのが、終活セミナーに深みと厚みをもたらしていて良かったです。
- ・人間的な視点だと終活はネガティブなイメージですが、仏教的な視点では前向きなポジティブな雰囲気を感じました。

新たな気づきや発見がありましたか

- ・両親のためと思い参加した終活セミナーですが、我が事として考えなければならぬことなんだと気付かされました。
- ・お寺の印象が変わりました。

今後聞いてみたいテーマは、看取り、家族ケア、在宅医療・介護が多かったようです。

ですので、次回は「在宅医療」「在宅緩和ケア」「訪問看護」を取り上げたいと思います。詳しくは最終ページをご覧ください。

真宗大谷派光明寺

報恩講嚴修

2021年11月14日（日）

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の不安から、報恩講は内勤めとさせていただき、住職と若院のみでお勤めいたし、ご参詣をお断りせざるを得ませんでした。

今年は、お寺では十分な感染予防対策を施し、皆様お一人お一人には各自で感染予防に気をつけていただきながら、マスク着用の上、密にならないように、法要を午前と午後の二座に分けてお勤めいたしました。

そのためか、例年のご参詣に近い40名近くのご門徒さん方にお参りいただきました。



報恩講とは私たち真宗門徒にとって一年の中でもっとも大切な御仏事で、本山（京都・東本願寺）では、宗祖親鸞聖人の御祥月命日である十一月二十八日まで、一週間にわたり勤められる法要です。

全国の末寺では、本山にならって宗祖親鸞聖人の御命日の近くに報恩講が勤められま

すが、光明寺では、毎年十一月の第二日曜日にお勤めしています。

宗祖親鸞聖人が大切にされた本願念仏の教えに遇い、この私が真によるべき教えを伝えてくださった御恩に感謝し、仏の教えを聞くことを通して、一人ひとりが、その御恩に報いた生活というものを確かめてゆくことが願われています。

例年通りとまではいかず、お勤めは住職と若院のみ、法話は住職がお話いたしました。



少しずつですが、生活が戻ってきたような感じもいたします。でも、もう元には戻らないだろうな、という思いもいたします。

自分の生き方を見つめ直すチャンスなのかも知れません。仏の教えに、人生を訪ねてまいりましょう。



二〇二二年 年忌法要（亡くなった年）

四十九日法要…亡くなった日から四十九日

一周忌法要…二〇二一年（令和三年）

三回忌法要…二〇二〇年（令和二年）

七回忌法要…二〇一六年（平成二十八年）

十三回忌法要…二〇一〇年（平成二十二年）

十七回忌法要…二〇〇六年（平成十八年）

二十三回忌法要…二〇〇〇年（平成十二年）

（二十五回忌法要）…一九九八年（平成十年）

二十七回忌法要…一九九六年（平成八年）

三十三回忌法要…一九九〇年（平成二年）

五十回忌法要…一九七三年（昭和四十八年）

※地域により、二十三回忌・二十五回忌・

二十七回忌は、お勤めする習慣が異なりますので、お寺にご相談ください。

写教の会

教えの言葉を書き写す「写教」の会です。

開催日…1月19日・2月16日・3月16日

水曜日の14時～17時まで開けて
いますので、出入り自由です。

参加費…無料

「正信偈」を书写しますので、筆ペン又は書道道具をご持参ください。

光明寺同朋の会（法話の会）

親鸞聖人が書かれた「正信偈」には、どのような教えが記されているのでしょうか。少しずつですが、学んでまいります。

開催日…1月29日・2月26日・3月26日

土曜日の14時～16時まで

法話…光明寺住職

参加費…500円（テキスト代別600円）

Zoom…会議ID:953 5707 6868

パスワード:684089

※Zoomを利用することにより、今まで通り

お寺で参加する場合と、自宅からインターネットを利用しての参加が可能になりました。詳細はお問い合わせください。

第12回終活セミナー

「終活」とは、やがて終わりを迎える私の人生に向き合い、心配なことを整理し、今のいのちを安心して生きて往くための活動です。お寺で、一緒に考えましょう。

開催日…2月12日（土）14時～16時

テーマ「在宅医療の現状から『自宅で看取る』

という選択について考える

～在宅緩和ケアや訪問看護の現状～

講師…三枝克磨さん（訪問看護師）

参加費…無料

東日本大震災追弔法要

東日本大震災により被災したすべての方に憶いを馳せ、「勿忘（わすれな）の鐘」を撞き、法要をお勤めいたします。

ご縁がありましたら、お参りください。

日時…3月11日（金）14時46分より

感話…光明寺住職（15分ほど）

参加費…無料

※お寺では三密を避け、除菌・消毒などの対策をいたしますが、お一人お一人におかれましては、体調には十分ご留意いただき、無理をせずにお出かけください。